

市区町村議会議長 殿

一般社団法人 日本教材備品協会
会長 大久保 昇



学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い

学校教材備品は、児童生徒の関心・意欲や学習理解の増進を図る上で必要不可欠であります。また学習指導要領の学習目的を実現し、児童生徒の確かな学力の育成を図るためには、学校教材備品の安定的かつ計画的な整備を図ることが極めて重要であります。

学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程の改善を目指すことが大きなテーマとなっており、これを実現するため、今後の授業展開は、観察や実験、体験や疑似体験等を通じて、児童生徒が自ら考えることがこれまで以上に大切になると存じます。1人1台の端末が授業で活用される中で、教材備品とデジタル教材の両方の良さを適切に組み合わせることで、児童生徒の理解が更に深まるとも考えられます。

文部科学省では、義務教育諸学校に備える教材の例示品目と整備数量の目安をとりまとめた参考資料である「教材整備指針」を、平成20年改訂の学習指導要領を踏まえ平成23年に策定し、平成29年改訂の学習指導要領を踏まえ令和元年に改訂し、各学校・各教育委員会が学校教材備品の整備の現状を把握し、教育方針に応じた整備の計画を立て易くいたしました。また、これらの学校教材備品の整備が安定的かつ計画的に実施されるよう、総務省の協力の下、令和2年度からの10か年を計画期間とする「義務教育諸学校における教材整備計画」を策定し、単年度で約800億円の地方財政措置が講じられております。しかしながら、各々の自治体における学校教材備品の整備については、財源が地方交付金のため、整備予算に大きなばらつきや差が生じることを懸念しております。

貴自治体におかれましては、管内の義務教育諸学校における学校教材備品の整備の現状を調査・把握いただき、教材整備計画の策定を進めていただきたくお願い申し上げます。その上に、総合教育会議において、首長と教育委員会が協議・調整いただき、学校教材備品の安定的かつ計画的な整備をより一層推進していただくことをお願い申し上げます。

尚、お送りしました当該リーフレットは、「子どもたちの未来のために計画的な教材整備が必要です。」の表紙のタイトルにありますように、計画的な学校教材備品の整備の実施をお願いする内容となっております。子どもたちの学力向上のため、学校教材備品の整備の参考としていただければ幸いです。また、ご質問等ございましたら当協会までご連絡賜りたく存じます。

【本件のお問い合わせ先】

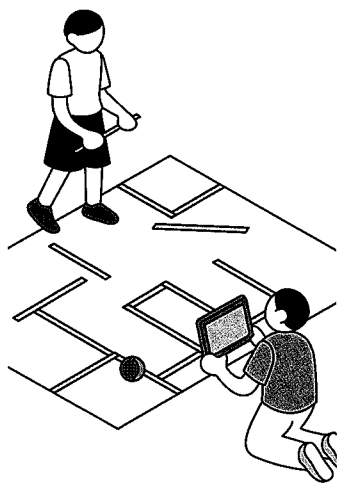
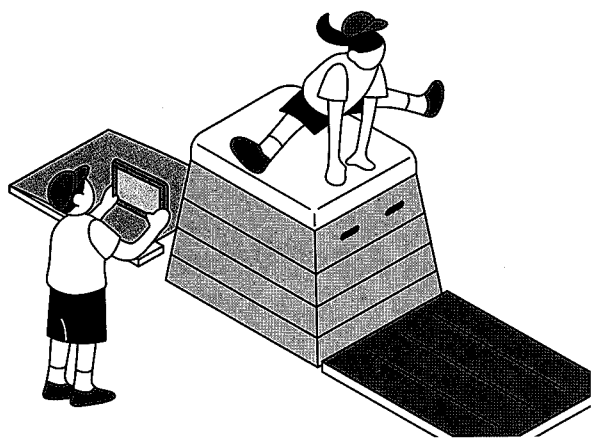
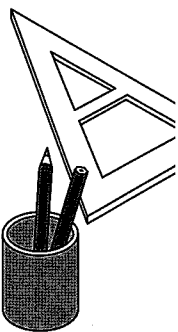
一般社団法人日本教材備品協会



一般社団法人 日本教材備品協会（JEMA）につきまして

私ども一般社団法人日本教材備品協会（JEMA）は、平成3年に優れた教材教具の研究開発と普及を目指して設立され、平成10年に当時の文部大臣より社団法人の認可を受けた協会です。以後、公益事業に注力し、学校教育用教材備品等に関する普及、活用、開発、調査研究、品質向上等の事業を行うことで我が国の学校教育に寄与してまいりました。

法人制度改革に伴い、平成25年4月に一般社団法人に移行し、引き続き学校教育に寄与することを目的に事業を展開しているところであります。



子どもたちの 未来のために

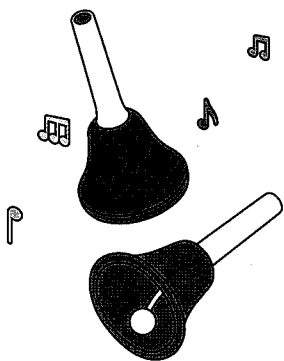
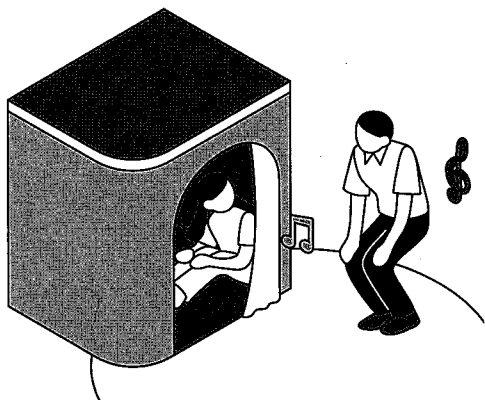
計画的な **教材整備** が必要です。



文部科学省策定の **教材整備指針** を参考に、

教材整備計画 を活用して、

適切な教材の整備充実を図りましょう！



義務教育諸学校における

教材整備計画

令和2年度～11年度

JEMA

Japan Educational Materials Association.

一般社団法人 日本教材備品協会 ジェマ

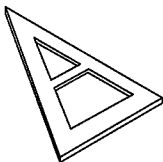
学校教材の計画的な整備のため、 文部科学省策定の **教材整備指針** を 積極的に活用しましょう！

教材整備指針は義務教育諸学校に備える教材の例示品目、整備数量の目安を参考資料としてとりまとめたものです。目安の数量（必要数）と現有数とを把握し、計画的に整備していきましょう！これらの整備に必要な経費は新たな教材整備計画により地方交付税措置が講じられております。

教材整備指針の特色

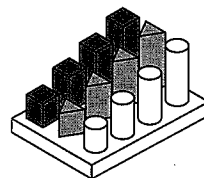
① 教材整備数量の目安を例示

各市区町村、学校が具体的な整備数量を定める際の参考として、学校、学年、学級、グループあたりの整備の目安を教材毎に例示



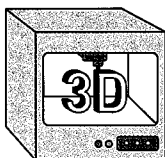
② 学習指導要領に対応

学習指導要領に対応する全ての教科の教材を例示
特別支援教育にも対応しています



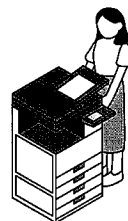
③ 技術革新等を踏まえる

視線/音声入力装置（特別支援学校）、3Dプリンター（中学校）等、昨今の技術革新等を踏まえた教材を例示



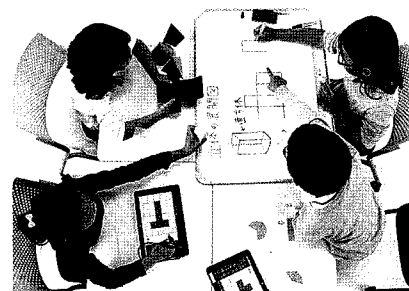
④ 学校における働き方改革に対応

拡大プリンター、複合機等学校における教育環境改善に資する教材を例示



教材整備指針の活用例

- ▶ 新たに必要となる教材、更新が必要な教材のピックアップに！
- ▶ 備える整備数の参考に！
- ▶ 整備計画策定の参考に！
- ▶ 教育委員会等への要望資料として！



▼詳しくはこちら▼ ご不明点や活用のご相談などございましたらお問い合わせください。

JEMA

検索

www.jema.or.jp/mext/mext-info



学校教材の整備

検索

www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyozai/index.htm



教材整備指針 に基づいた 教材整備計画 を!

教材整備指針は
このような内容に
なっています。

例：小学校教材整備指針を基に

④ 学校における働き方改革に対応

② 学習指導要領に対応

教科等	機能別分類	整理番号	例示品名	目安番号	新規	必要数	現有事	整備数※
学校全体で共用 可能な教材	発表・表示用教材	1	発表板	⑦	△			
	発表・表示用教材	2	パネルシアター	③	△			
	道具・実習用具教材	23	プログラミング教育用ソフトウェア・ハードウェア	⑧	○			
	情報記録用教材	32	プリンター・拡大プリンター	①	△			
国語	発表・表示用教材	35	黒板(作文指導用・短冊・漢字指導用・硬筆指導用など)	⑤	△			
	道具・実習用具教材	40	漢字練習用教材(漢字・筆順カードなど)	②				
社会	発表・表示用教材	46	地球儀(大・小・白地図など)	⑤	△			
算数	発表・表示用教材	49	教材作成・提示説明ソフト	①	○			
	道具・実習用具教材(数と計算)	59	計算ブロック	⑦	○			
理科	発表・表示用教材	65	標本(堆積岩、化石、火山噴出物、火成岩、映像教材など)	⑧	△			
	実験観察・体験用教材	89	音の学習用具(おんさなど)	⑤	○			
生活	実験観察・体験用教材	121	木の実穴あけ器	④	○			
音楽	発表・表示用教材	127	鑑賞資料(DVD、CDと関連画像資料など)	②	○			
	道具・実習用具教材	133	録音機器(デジタルレコーダーなど)	④	○			
図画工作	発表・表示用教材	144	色立体模型	①				
	道具・実習用具教材	175	整理用教材(整理戸棚、材料収納棚・箱、作品乾燥棚、掃除機(集塵機)など)	⑧	△			
家庭	発表・表示用教材(住生活関連教材)	176	黒板(栄養黒板、献立黒板など)	⑧				
	実験観察・体験用教材	209	簡易騒音計	⑤	○			
体育	道具・実習用具教材(陸上運動)	235	投の運動用具一式	①	○			
	道具・実習用具教材(ボール運動)	245	ハンドボール用具一式	①	○			
外国語活動・ 外国語	発表・表示用教材	263	音声CD(チャンツ、歌、ナーサリーライム等)	⑧	○			
	道具・実習用具教材	265	カード教材(ピクチャーカード、フラッシュカードなど)	⑤				
総合的な学習の時間	実験観察・体験用教材(福祉・健康)	292	高齢者疑似体験セット、加齢体験セット	④	△			
特別活動	発表・表示用教材	299	紙芝居用舞台	①	○			

○は令和元年改訂で
新規に例示した教材

△は令和元年改訂で
例示内容を
一部見直した教材

【特別支援教育に必要な教材】

③ 技術革新等を踏まえる

① 教材整備数量の目安を例示

教科等	機能別分類	整理番号	例示品名	目安番号	新規	必要数	現有事	整備数※
特別支援教育に 必要な教材	知的障害	310	運動学習用教材(トランポリン、ボールプール、平均台、バランス遊具、投てき板、大型三輪車、マットなど)	⑤	△			
		311	ソーシャルスキル指導用教材	⑤	△			
	肢体不自由	316	入力支援機器(手指入力、音声入力、視線入力など)	⑦	△			
		320	軽量持ち運びスロープ	③	○			
	病弱及び身体虚弱	323	表示機器(VRゴーグルなど)	⑤	○			
		333	字幕提示システム(音声認識システム、字幕提示用機器など)	⑤	○			
	自閉症	346	デジタルカメラ	⑦	○			
	学習障害(LD)	351	カラーフィルター(情報の量や強さを調整するシートなど)	⑦				
	注意欠陥多動性障害(ADHD)	355	衝立	⑤				

※必要数-現有事=整備数

小学校

中学校

単位	番号	目安
I. 学校	①	1校あたり1程度
II. 学年	②	1学年あたり1程度
III. 学級	③	1学級あたり1程度
IV. グループ (1学級分)	④	8人あたり1程度
	⑤	4人あたり1程度
	⑥	2人あたり1程度
	⑦	1人あたり1程度
V. その他	⑧	とりあげる指導内容等によって整備数が異なるもの

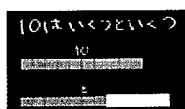
特別支援学校

単位	番号	目安
I. 学校	①	1校あたり1程度
II. 学年	②	1学年あたり1程度
III. 学級	③	1学級あたり1程度
IV. グループ (1学級分)	④	3人あたり1程度
	⑤	2人あたり1程度
	⑥	1人あたり1程度
V. その他	⑦	とりあげる指導内容等によって整備数が異なるもの

教材整備指針(令和元年度改訂)での例示品の整備状況 (令和5年度 JEMA調査より)

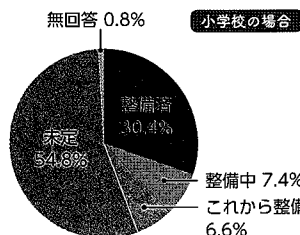
計算ブロック(小学校)

算数の道具・実習用具教材
(数と計算)の新規例示品



目安数量

1人あたり
1程度



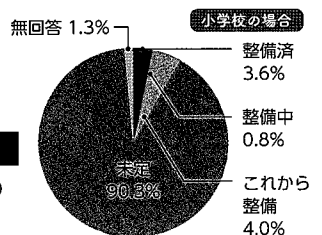
軽量持ち運びスロープ

特別支援教育(肢体不自由)に
必要な教材の例示品



目安数量

1学級あたり
1程度

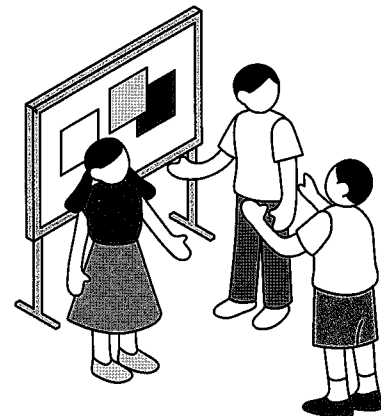


子どもたちの確かな学力の育成を図るための

教材整備計画

が策定されています。

令和2年度から11年度まで、「学校教材整備」のために、
単年度約800億円、10か年で約8,000億円（見込み）の
※地方交付税措置が講じられております。



「主体的・対話的で深い学び」により、
児童・生徒たちが自ら考え、
自ら発信する力をより伸ばす教育を進めるために、
支援・触発する学校教材をしっかりと整備していきましょう。

義務教育諸学校における教材整備計画

概要

文部科学省では学習指導要領改訂や学校における働き方改革の進展等を踏まえ、各教育委員会、各学校の教材整備の参考資料となる「教材整備指針」を令和元年8月に改訂。これを踏まえ、令和2年度からの計画的な教育環境整備に関する財政措置の見通しとなる「義務教育諸学校における教材整備計画」を策定。

1. 趣旨

学習指導要領に対応し、子どもたちの確かな学力の育成を図るため、学校教材の安定的かつ計画的な整備を促進する。

2. 計画の内容

教材整備指針（令和元年8月改訂）の例示教材等の整備に必要な経費を積算。

3. 積算内容

- (1) 学習指導要領関連(学習指導要領に対応する教材)
- (2) 技術革新等関連(昨今の技術革新等を踏まえた教材)
- (3) 学校における働き方改革関連(学校における教育環境改善に資する教材)

4. 年次計画額

単年度措置額(普通交付税)約800億円
(10か年総額 約8,000億円見込み)

小学校	約500億円
中学校	約260億円
特別支援学校	約40億円

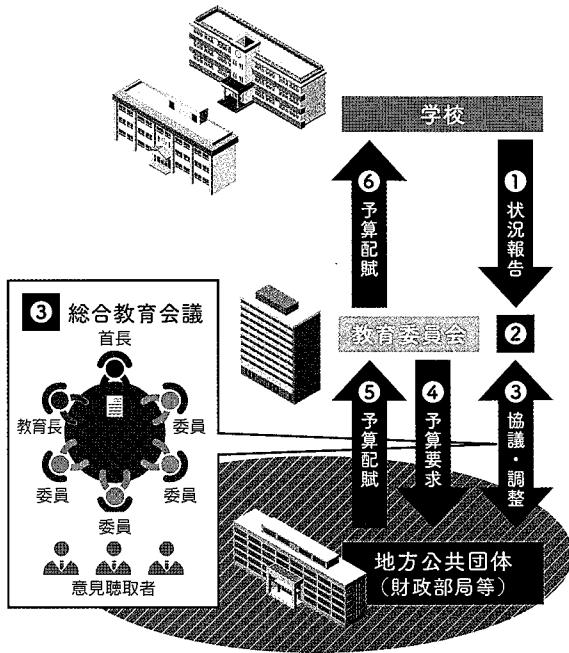
子どもたちのために、
教材整備に積極的に
使いましょう!

※地方交付税措置

地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスが提供できるよう財源を保証するためのもの。
なお、用途を特定しない一般財源として措置されるため、各自治体で予算化が図られて、初めて教材費などに充てることができます。

学校教材の整備の進め方について

教材整備計画における学校教材の整備に必要な経費は、地方交付税等による財政措置の対象とされており、学校教材の整備について、それぞれの地域で議論し、予算措置することが重要です。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、各地方自治体に設置される総合教育会議において、計画的な教材整備について首長と教育委員会が協議・調整することも有効であると考えられます。



POINT

首長と教育委員会が協議・調整することにより、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたる事が可能になります。

財政措置額

(全国ベース)
令和6年度措置額約800億円

《積算基礎》

小学校	(18学級規模).....	2,653千円
中学校	(15学級規模).....	2,742千円
特別支援学校	(350学級規模)..	85,543千円

学校現場での整理

- ◎ 整備品目や教材の優先順位を決定
校長を中心に、教頭、教務主任、事務職員等による予算委員会を組織するなど、校内組織を生かした全校的な対応を図る。

① 状況報告 学校 → 教育委員会

- ◎ 教委に対して情報提供・要望(教材による効果の説明等)

② 教育委員会内での整理 教育委員会

- ◎ 学校現場で更新・新規購入が必要な教材を把握
 - 各学校に対するヒアリング
 - 各学校での台帳による管理
 - 学校に必要な教材の優先順位をつけて要望
 - 他自治体の整備状況の照会
- ◎ 教育委員会で内容を精査
- ◎ 教材整備に必要な費用を積算

③ 協議・調整 教育委員会 ↔ 地方公共団体(財政部局等)

- ◎ 教育条件整備に関する施策
学校備品・教材の計画的な整備計画

④ 予算要求 教育委員会 → 地方公共団体(財政部局等)

- ◎ 必要な予算を要求
 - ◎ 要求内容について説明
- 文部科学省からの資料等も活用
・地方交付税の財源措置等の通知
・教材整備指針

⑤ 予算配賦 地方公共団体(財政部局等) → 教育委員会

⑥ 予算配賦 教育委員会 → 学校

教材整備関係の地方交付税措置額の試算例(令和6年度ベース)

	地方交付税の算定に用いる標準施設の状況			地方交付税措置額(試算例)	
	一般財源 (教材整備関係) A	施設規模 B	1学級当たり 一般財源 C(A/B)	施設規模 D	試算額 E(C×D)
小学校	2,653千円	18学級	147.4千円	150学級 ____学級	22,110千円 ____千円
中学校	2,742千円	15学級	182.8千円	80学級 ____学級	14,624千円 ____千円
特別支援学校	85,543千円	350学級	244.4千円	50学級 ____学級	12,220千円 ____千円

備考1: 地方交付税措置額の試算に用いる学級数(D)は、義務標準法に規定する学級編制の標準により算出した学級数です。

備考2: 寒冷補正(暖房費や除雪費等を反映するもの)等の補正係数は、考慮していません。

ここに学級数を代入して、あなたの自治体や学校の措置額を試算しましょう! ※学級数は特別支援学級も含まれます。

子どもたちの確かな学力の育成を図るために、 学校教材の安定的で計画的な整備の実施、推進をお願いします。

学習指導要領を踏まえた安定的かつ計画的な教材整備の実現に向けて 文部科学省初等中等教育局長 望月 禎

適切な教材の整備充実、児童生徒の関心・意欲や知識理解の質をさらに高め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による学習指導要領の趣旨の実現を図る上で極めて重要であり、加えて教師の授業準備や教材研究の負担軽減効果も期待でき、各学校における働き方改革の推進にも資するものと考えられます。

このため、文部科学省では、教育条件整備策の一つとして、令和元年8月に策定した「教材整備指針」に例示される学校教材等の整備が、安定的かつ計画的に実施できるよう、「義務教育諸学校における教材整備計画」（令和2～11年度の10か年）を策定しており、令和6年度で五年度目となりました。

GIGA スクール構想の進展等を中心として、学校の教育環境に大きな変化が訪れておりますが、教材整備の重要性は変わりません。各地方公共団体、教育委員会、学校におかれましては、同指針も参考としていただきながら必要な教材を整理した上で、総合教育会議における首長と教育委員会の協議・調整の場を活用するなどして、学校教材の整備をより一層推進していただければ幸いです。

地域の実情に応じた教材整備の推進を 総務省自治財政局調整課 課長補佐 高橋 直人

学習指導要領に対応して策定された「義務教育諸学校における教材整備計画」を踏まえ、学校教材の安定的かつ計画的な整備を促進するため、その整備に必要な経費については、地方交付税措置を講じることとしております。

地方交付税に用途の定めはなく、それぞれの地域において、教材整備の必要性やその整備水準等について議論を深めていただくことが重要です。地域の実情に応じた教材整備が推進され、各学校現場での創意工夫に基づき、子どもたちの健やかな学びが図られることを期待しております。

すべての子どもたちが一定の水準の教育を受けられるよう 全国連合小学校長会 会長 植村 洋司

令和6年度は学習指導要領全面実施5年目となり、全国の小学校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善がより一層進められているところです。また、一人一台端末と高速大容量通信環境における、ICTを活用した教育活動が本格化し、効果的活用が図られています。しかしながら、各自治体の財政状況や考え方等によって、その整備や推進状況に格差が生じています。

全国連合小学校長会は、公立小学校の教育環境は全国どこでも同じように整備されていなければならないと考えています。すべての子どもたちへのよりよい教育の実現を目指し、すべての子どもたちが一定の水準の教育を受けられるよう、「教材整備指針」を踏まえた教材整備が進みますようお願いいたします。

「学びの充実」と「学校における働き方改革」の両面からの教材整備を！ 全日本中学校長会 会長 青海 正

令和6年度は、現行の学習指導要領の全面実施から4年目を迎え、全国の公立中学校では「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」、また「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して、新たな学びの実現による学校教育の質の向上に取り組んでいるところです。学校で使われる教材は、生徒の興味・関心を高め、理解を助ける上で極めて重要であり、その充実は不可欠です。一方、「学校における働き方改革」の更なる加速化が進められる中、教材準備等の負担軽減を図っていくことが求められています。

全日本中学校長会としても、「全国どの地域でも一定水準の教育を受けることができること」「働き方改革を加速化すること」の両面から、全国の全ての公立中学校が「教材整備指針」を基に整備計画を策定し、計画的かつ確実に教材整備を進めていただくことをお願いしたいと思います。

より良い未来を築くために 全国市町村教育委員会連合会 会長 田邊 俊治

GIGA スクール構想の進展により教育環境は急速に変化していますが、教材整備の重要性は変わりません。一人一台端末を活用し個別最適な学びを推進するためにデジタル教材はもちろんのこと、従来からの教材の重要性も増していると考えます。五感を働かせる実験学習や体験学習などは子どもたちの興味関心を高め理解を深めます。デジタル教材と従来からの教材との組み合わせを促進していく意義について再認識していく必要があります。

全国の各市区町村教育委員会がこのリーフレットを活用し、学校教材の有効活用が図られ教育環境の向上に取り組むことで、子どもたちにとってより良い未来を築く一助となることを期待しています。

計画的で着実な学校教材の整備を 一般社団法人日本教材備品協会(JEMA) 会長 大久保 昇



予測する事が困難な時代を生き抜く為に、児童生徒一人一人が「主体的・対話的で深い学び」を実現し、これから生きていくために必要な資質・能力を身につけていく必要があります。学校の様々な教材はそれを触発する道具として、そして「個別最適な学び」を推進するためにも重要な存在です。この教材予算の確保の為に、またどの自治体でも整備ができるように「義務教育諸学校における教材備品計画」として令和2年から11年度まで、単年度で800億円の地方交付税措置が講じられています。文部科学省が定めた教材整備の参考資料となる「教材整備指針」に則り、計画的でそして着実な教材の整備が促進されることをお願いします。

教材整備の参考に・・・

■ JEMAは、教材整備に関する様々な情報・データを提供しています。

 **教材データベース** <http://kyouzai.jema.or.jp/>

日本初 教材検索WEBサイト。
学校が求める、あらゆる教材情報にお応えします。

 JEMA 教材データベース  検索

■ JEMAは、安全な教材備品の整備を推進しています。

● 子どもたちを健康被害から守ろう!!
JEMA安全基準適合認定事業。



JEMA 安全基準適合認定マーク
商標登録 第5021810号